

I 平成30年度事業報告書

自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日

1. 会 員 数

平成30年度期首会員数	平成31年度期首会員数	期中異動
432名	413名	19名

2. 実施事業

(1) 行 事

1) 会員例会

委員長 辻 雅文
副委員長 市原 好二

開催日等	テーマ	講 師
4 月 例 会 〈H30. 4. 23〉	「日本外交の課題と展望」	NHK政治部記者・解説委員 岩田 明子 氏
岐 阜 県 サ ミ ッ ト 〈H30. 5. 9〉	ーサミット記念講演会ー 「デフレ脱却と日本経済の課題」	富士通総研エグゼクティブ・フェロー 早川 英男 氏
	ー岐阜県サミットー	<ゲスト> 岐阜県副知事 神門 純一 氏 岐阜県議会議長 尾藤 義昭 氏
6 月 例 会 〈H30. 6. 12〉	「北朝鮮核・ミサイル問題と国際社会」	南山大学総合政策学部教授 平岩 俊司 氏
7 月 例 会 〈H30. 7. 24〉	「脳を知って脳を活かす」	東京大学薬学部教授 池谷 裕二 氏
8 月 例 会 〈H30. 8. 22〉	「異次元緩和の出口戦略」	野村総合研究所エグゼクティブ・エコノミスト 木内 登英 氏
9 月 例 会 〈H30. 9. 21〉	「ロシアのこれからとビジネスチャンス」	法政大学法務部国際政治学科教授 下斗米 伸夫 氏
1 0 月 例 会 〈H30. 10. 23〉	「自民党総裁選後のわが国の政治動向」	政治ジャーナリスト 田崎 史郎 氏

11月例会 〈H30.11.27〉	「今後の経済動向と中小企業経営」	立教大学名誉教授 中小企業サポートネットワーク主宰 山口 義行 氏
12月例会 〈H30.12.11〉	「日本文学のローカルとグローバルと ～伝統文化から新しい価値を 創造するために～」	国文学研究者・国文学研究資料館長 ロバート キャンベル 氏
1月例会 〈H31.1.29〉	「2019年日本経済の展望 ～秋から景気後退の可能性～」	第一生命経済研究所経済調査部首席エコノミスト 永濱 利廣 氏
2月例会 〈H31.2.26〉	「わが国の観光産業の将来」	(株)小西美術工藝社社長 デービッド・アトキンソン 氏
3月例会 〈H31.3.18〉	「トランプと習近平にどう立ち向かうか？」	中部大学特任教授 細川 昌彦 氏

2) 産学官懇談会

委員長 小笠原敏彦
副委員長 堀 富士夫
副委員長 下川 広佳

開催日等	テーマ	講師等
講演会 〈H30.8.3〉	「その一分を削りだせ！」	岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野教授 小倉 真治 氏
講演会 〈H30.10.3〉	「東海地域の産業の現状と展望 ～地域企業の新たな発展モデルの構築に向けて～」	中部経済産業局 地域経済部長 閑念 磨聡 氏
視察 〈H30.11.9〉	視察先：NHKドラマ「半分、青い。」 ロケ地、岩村城下町	・ドラマのロケ地岩村城下町を視察。 ・とうしん地域活力研究所の伊藤光昭所長「NHK連続テレビ小説『半分、青い。』の放映に伴う岐阜県経済への波及効果について」聴講。
講演会 〈H31.2.28〉	「私の歩んできた道」	中部経済同友会代表幹事・(株)ジェイテクト会長 須藤 誠一 氏

3) 幹事会

開催日	内 容	ゲスト
<H30. 8. 29>	『最近の金融経済情勢と今後の展望』 －国際情勢を巡る不確実性と 労働力の多様化－	日本銀行名古屋支店長 清水 季子 氏
<H31. 2. 27>	古田知事との意見交換会	岐阜県知事 古田 肇 氏

4) 地域懇談会

① 東濃地域懇談会

開催日	平成31年2月5日
テーマ	「近年の猛暑・豪雨の原因と、その教訓や対策」
講師	気象予報士・防災士 平井 信行 氏
参加者	63名

② 中濃地域懇談会

開催日	平成31年2月22日
テーマ	『最近の経済動向について』 ～世界経済発展の恩恵を地元でいかに享受するか～
講師	野村証券株式会社 岐阜支店長 東 英憲 氏
参加者	14名

③ 飛騨地域懇談会

開催日	平成31年3月8日
テーマ	「新たな外国人材の受け入れに向けた取組について」
講師	岐阜労働局長 稲原 俊浩 氏
参加者	12名

(2) フォーラム事業

1) 企業経営フォーラム

委員長 柳原 幸一
副委員長 森田 槇子

目 的	変化の激しい時代のなかで、企業経営は柔軟かつスピーディな対応を余儀なくされているため、企業経営の最新トレンドや直面する様々な課題について理解を深めるとともに意見交換する。なお、必要に応じ、国内外の先進企業などを視察する。
活動経過	<p>■第1回フォーラム 平成30年8月1日</p> <p>・講師 スポーツ心理学者 追手門学院大学スポーツ研究センター特別顧問 児玉 光雄 氏</p> <p>・テーマ 「トップアスリートに学ぶ勝者の思考法」 ～大谷翔平や錦織圭に学ぶメンタルの極意～</p> <p>■視察 平成30年11月20日～22日</p> <p>・視察先 韓国（ソウル・南北軍事境界線） 南北軍事境界ライン周辺の視察。 世界文化遺産である昌徳宮、水原華城の見学等。</p> <p>■第3回フォーラム 平成31年3月20日</p> <p>第一部・講師 鈴与(株)・(株)フジドリームエアラインズ会長 鈴与 与平 氏</p> <p>・テーマ 「大空に夢を ～リージョナル航空と地方創生～」</p>

2) 同友フォーラム

委員長 碓井 洋

目 的	会員のニーズに対応するほか提言関係事業と連動して、社会に生起する諸課題について理解を深めるとともに意見交換する。
活動経過	<p>■第1回フォーラム 平成31年3月12日</p> <ul style="list-style-type: none">・講 師 皇室ジャーナリスト 山下 晋司 氏・テーマ 「天皇の御代替わりとその後の皇室について」

(3) 提言関係事業

1) 外国人材受け入れを考える委員会

委員長 中村 源次郎
副委員長 藤吉 友子
副委員長 山田 豪

提言名	外国人材受け入れのあり方について － 地方創生につながる受け入れを －
活動方針	主に単純労働分野の外国人労働者の受け入れに関して必要な施策を提案する。
活動経過	<ul style="list-style-type: none"> ■第1回委員会 平成30年7月17日 ・テーマ 「『骨太の方針』－ 新たな外国人材の受け入れ －」 ■第2回委員会 平成30年9月18日 ・テーマ 「提言の方向性」 ■第3回委員会 平成30年11月19日 ・テーマ 「提言素案」 ■提言記者発表 平成30年12月12日 ・出席者 正副委員長 ■片山さつき 地方創生担当大臣との面談 平成30年12月18日 ・出席者 正副委員長
提言骨子	<p>[基本的な考え方]</p> <p>受け入れの制度設計や受け入れ環境のあり方は、外国人労働者が“わが国で個人として尊重され、幸福追求できること”を基本理念とする必要がある。</p> <p>1. 新たな在留資格「特定技能」は、各々の地域経済の姿を正確に捉えたいうえに必要な業種に必要な人数だけ受け入れを進める制度設計にすべきである。</p> <p>2. 受け入れ環境で最も重要なのは日本語教育の充実であり、日本語教育推進のための基本法を早期に成立させる必要がある。また、日本語教育の社会基盤として「夜間中学」の活用を検討すべきである。</p> <p>3. 外国人労働者、特に高度外国人材の東京一極集中は日本人労働者よりはるかに進行しており、地方創生の点から一極集中是正策を打ち出すべきである。具体的には、地方で就労する高度外国人材と新たな在留資格である「特定技能2号」取得者に在留資格上の優遇措置を施す。</p>

2) 事業承継を考える委員会

委員長 嶋崎 吉弘
副委員長 豊田 繁雄

提言名	<p>企業経営者が考える事業承継支援策 － 地域の「価値ある企業」を未来へ繋ぐ －</p>
活動方針	<p>中小企業において事業承継が進まないことを踏まえ、円滑な承継に必要な施策を提案する。</p>
活動経過	<p>■第1回委員会 平成30年7月19日 ・テーマ 「事業承継が円滑に進まない理由・妨げている要因」 ■第2回委員会 平成30年9月27日 ・テーマ 「提言の方向性」 ■第3回委員会 平成30年12月5日 ・テーマ 「提言素案」 ■提言記者発表 平成31年2月20日 ・出席者 正副委員長</p>
提言骨子	<p>[基本的な考え方] “地域に貢献する「価値ある企業」(※)を円滑に次世代へ繋ぐ” ことを基本理念として、企業経営者目線で事業承継のしやすい環境づくりに必要な施策を提言する。 (※) 優良企業だけでなく、規模が小さくとも事業が成り立ち、雇用や納税などで地域に貢献している企業</p> <p>1. 現状の税制では、地域に貢献する優良な企業ほど株式移転に多額の資金や税負担を強いられ、承継の妨げとなっている。「取引相場のない株式」の評価方法を見直し、事業の継続を前提に自社株を「非課税扱い」とする制度設計を導入すべきである。</p> <p>2. 親族外への承継は年々増え、第三者承継を支援する枠組みは重要度を増している。後継者がいない場合、最後の手段となるM&Aの環境整備や、事業承継がしやすい公的な制度を整えるべきである。</p> <p>具体的な施策は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国のM&A事例を幅広く共有できるツールづくり ・M&Aについて安心して相談できる窓口や仕組みの一本化 ・各都道府県にある「事業引継ぎ支援センター」の大幅な人員増強と予算の拡充 ・売側だけでなく買側企業へのインセンティブ措置の創設 ・第三者承継の各プロセスを幅広く支援する体制づくり <p style="text-align: right;">など</p>

(4) 経済団体との交流事業

1) 第31回全国経済同友会セミナー

開催日	平成30年4月19日～20日
テーマ	「次世代につなげる輝く日本を目指して ～明るく希望に満ちた社会の構築～」
内容	【基調講演】 講師：建築家、東京大学教授 隈 研吾 氏 テーマ：「人口減少社会での持続可能なまちづくり」 【特別講演】 講師：(株)小西美術工藝社 代表取締役社長 デービッド・アトキンソン 氏 テーマ：「未来に繋げる地域文化の磨き方」
会場	ホテル東日本宇都宮、栃木県総合文化センター
本会からの参加者	7名

2) 第27回経済同友会中央日本地区会議

当会議は、わが国の中央地域に位置する8同友会の幹部が、交流を深めるとともに広域的テーマについて意見交換する会合。本年度は本会が主催した。

開催日	平成30年10月5日
テーマ	「人手不足にどう対応すべきか」
内容	【基調講演】 講師：慶應義塾大学名誉教授 武蔵野大学経済学部教授 深尾 光洋 氏 テーマ：金融政策の限界と成長戦略 －人手不足の制度的要因解消と外国人労働者の適切な受け入れ
参加同友会	岐阜県、中部、静岡、富山、金沢、福井、新潟、山梨
会場	岐阜都ホテル

3) 岐阜県下財界新春懇親会

開催日	平成31年1月11日
共催	岐阜県商工会議所連合会 岐阜県経営者協会

3. 会議

1) 総 会

① 平成30年度定時総会

日 時	平成30年6月12日 午後3時30分
出席会員	314名（書面表決委任者205名を含む）
議 案	第1号議案 平成29年度事業報告書及び財務諸表の件 第2号議案 理事及び監事選任の件

② 平成30年度臨時総会

日 時	平成31年3月18日 午後3時30分
出席会員	292名（書面表決委任者190名を含む）
議 案	第1号議案 2019年度事業計画・予算の件

2) 理事会

回	開 催 日	議 案 及 び 報 告
1	H. 30. 5. 9	次期理事・監事候補者選任の件、幹事増員の件、常任幹事・幹事補充の件、平成29年度事業報告及び決算の件
2	H. 30. 6. 12	筆頭代表幹事・代表幹事・事業統括幹事・専務理事及び常務理事選定の件
3	H. 30. 11. 27	中間決算の件、常任幹事・幹事補充の件
4	H. 31. 1. 29	2019年度事業計画、予算の件

3) 常任幹事会

回	開 催 日	議 案 及 び 報 告
1	H. 30. 12. 11	入会の件、中間決算の件、常任幹事・幹事補充の件
2	H. 31. 2. 26	入会の件、2019年度事業計画・予算案の件